

9月11日(月)

## 命取りの郷愁

聖書朗読 創世記 19:15, 23~26

すると、イエスは彼に言われた。「だれでも、手を鋤に手をかけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくありません。」  
ルカ 9:62

団塊の世代（訳注：戦後のベビーブーム期、1947~1949年に生まれた世代を指し、現在74~76歳位）の74歳の私は、よく過去を振り返っては、時々、今の世の中が私が育った頃のように良かったら良いのになあと思ったりします。よくあることですが、危険をはらんでもいます。昔を懐かしむことは、私たちが現在に十分に生きることを妨げ、将来に備えることを阻（はば）むかもしれないのです。

現代社会はソドムの町にそっくりのようですが、ロトの妻は実際、道徳的に乱れ切ったソドムに生涯、住んでいたのです。御使いたちにせき立てられ、町の外に連れ出された時、彼女は滅ぼされた町を振り返ったので、塩の柱になってしまいました。それは、物事が変わらずにいてくれたらよいのという彼女の致命的な願いの遺跡でした。

荒野の生活はイスラエルの民にとって厳しいものでしたが、エジプトの奴隷生活に戻りたいという願いが、約束の地に入ることを妨げたのです。ヘブル12章1節から2節の奨励が書かれたのは、クリスチャンに、振り返らずに忍耐をもって走り続けるように、そうすれば神様の約束が待っているのだから、そこに向かって突き進むようにと促すためでした。

私たちがどんなに懐かしがっても、昔は戻ってきません。でも、現在は、どんなに困難に思えても、それはしばらくの間だけです。信仰の目を通して見る、これから起こることは、永遠です。

讃美歌 II 164

祈り アバ、父なる神様、御子にあるお約束が私たちの前にいつもありますように。私たちの前にあるものに目を留めていられますように。御子のお名前によって。アーメン。

コロラド州 リトルトン  
ティム・ケリー

## 今日のカ

2023年9月11日~9月17日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月12日(火)

## もう年だからということはない

聖書朗読 出エジプト記 6:28~7:13

彼らがパロに語ったとき、モーセは八十歳、アロンは八十三歳であった。

出エジプト記 7:7

『運び屋』(訳注: 原題 The Mule、らば・頑固者。2018年のアメリカ映画) という映画は、高齢のものともしなかった、87歳の第二次世界大戦の退役軍人の実話に基づいています。主演を演じたクリント・イーストウッドは88歳でした。エンドロールで流れるトビー・キースの歌にはこうあります。“生まれた日を知らなければ、何歳になるんだらう。”

モーセとアロンが自分たちは年取り過ぎだと思っていたかどうかはわかりませんが、神様はそう思っておられなかったのは確かです。神様は、私たちが年取り過ぎて役に立たないとも思っていないでしょう。私自身、シニア世代に入って数年になり、モーセとアロンが何で今さら自分たちがと感じたであろうことを理解できます。モーセにとって、ミディアンの地で羊を飼っていた方がよっぽど気楽だったでしょうが、そうは行きませんでした。

年齢に関わらず、私たちは神の御国のためにお役に立てるのです。電話をかけたリ、カードを送ったり、何より、祈ることができます。『義人の祈りは、働くとき大きな力があります。』(ヤコブ5:16) 私たちは、自分がなりたいと思うほど正しい人ではないかもしれませんが、熱心に祈りさえすれば、私たちの祈りは神様の御座に届きます。家の中にいても外でも、私たちは神様のみわざをすることができます。私たちの杖は、投げたら蛇になって、エジプトの呪法師たちの蛇を呑み込んだりはしませんけれどもね。

讃美歌 讃美歌 21 545

祈り 天のお父様、何歳になっても、あなたにお仕えできると感謝します。あなたにお仕えするのに年齢は関係ないことを、若い人たちに知ってもらえますように。救い主、御子のお名前によって。アーメン。

ケンタッキー州 ニューポート  
ラニータ・ブラッドリー・ボイド



9月13日(水)

## 神様はあなたを用いられます

聖書朗読 民数記 22:21~35

私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださったのです。 エペソ 2:10

メアリー・ヴァン・デューセンへの手紙の中で、C・S・ルイスは逆境にどう対処したらよいかについて書いています。恐怖や希望について述べ、感情はそれらに対処するには困った方法だと言っています。神様はご自分の目的を成し遂げるのに変わった道具を用いられることがあることに、彼は注目しました。そして、「バラムのろば\*を思い出さなければならぬ。」(民数記22:22-33)と記しました。\*バラムにいつも仕えていたろばは、ある時、バラムがロバに乗ってモアブのつかさ(役人)たちと出かけたとき、神の怒りが燃え上がることを見ました。ろばは主の使いがバラムに立ちふさがっているのを見たので、バラムがその道を行くことを止めようとしたのです。しかしバラムはろばが益々バラムの行こうとする道を阻もうとすることに怒りを燃やし、ろばに鞭打ってむりやり前に突き進もうとしたのです。この時、神様はバラムのろばをお使いになって、バラムが間違っていることを知らしめようとしたのです。神様はどんなもの、人でもお使いになるお方です。

私たちは時々、自分は霊的にふさわしくない、クリスチャンとして与えられるものは何もないかのように感じる時があります。でも、私たちの感情が、私たちは無力な存在だと言ったとしても、神様の目的は私たちを違った方法でお使いになることかもしれません。

聖書には、意外な、一見不可能に見える方法を、神様が意義深いやり方で用いられた話で溢れています。結局、神様の御力は強大で、しゃべることの出来ないはずのバラムのろばの口が開かれたのと同じくらい信じられないことをすることがおできになるのです。

ですから、今日、私たちがどう感じるのかに焦点をおくのではなく、ただ主の思いに従うことに焦点を置こうではありませんか。ごく普通の1日で終わるかもしれません。でも、神様は驚くべきことを生み出し、私たちを通して意義深いことをなしてくださいませ。私たちが落ち込んで立ち去っても、神様は、私たちの人生を用いられて、神様の“隠れた”目標を達成されるのです。

聖歌 417

祈り 主よ、私たちがただ感情によってではなく、知識によって生きられるように助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

トニー・アッシュ



C. S. LEWIS

1898-1963

アイルランド系のイギリスの作家・学者・信徒伝道者。『ナルニア国物語』の著者として有名。

9月14日(木)

## 国家の希望

聖書朗読 申命記 6:4~7

若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。  
箴言 22:6

現代世界において権力の中核はどこにあるのでしょうか。テレビが言うには、それは富や政府やスターの座にあります。でも、私たちは違う評価をします。アトランタ・ジャーナル・コンスティテューション（訳注：ジョージア州アトランタで唯一の大手の日刊紙）の前編集長、ヘンリー・ウッドフィン・グレイディが、一連の社説のための情報収集にワシントンへ旅行した時、到着するや、「これが連邦議会議事堂か。」と声を上げました。

数日後、帰路に、この有名な演説家であり論説委員は、質素な暮らしをしているある一家と一晩過ごしました。就寝前に、父親が、家族の聖書朗読と祈りに加わらないかとグレイディを誘い、彼は参加しました。

グレイディがアトランタに帰った時、彼はこう書きました。「私は国会議事堂に行って来ましたが、それはワシントンD.C.にはありませんでした。それは、子どもたちが、両親がキリストの教えについて読むのを聞くことができる、アメリカの家庭の中にありました。」「そこにこそ私たちの国の力があります。」と彼は結びました。

神様の御言葉に生きることは、権威のあるどんな政府の地位よりも力強い重要な場所にいることなのです。創造の神様に祈ることは、真の力に繋がることです。

聖歌 588

祈り 天地の主よ、今は困難な時代です。あなたの御言葉の基礎をしっかりと学び、あなたの道に歩み、私たちの光を日ごと輝かせることができますように。すべてをイエス様のお名前によってできますように祈ります。  
アーメン。



アラバマ州 トロイ  
ジョージ・メリット

9月15日(金)

## 人生のロードマップ

聖書朗読 ヨシュア記 1:1~9

この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちに記されていることすべてを守り行うためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。

ヨシュア 1:8

ヨシュア記1章の最初の9節には、イスラエルの指導者が“わたしのしもべモーセ”から、モーセの従者、ヨシュアへと移行するにあたっての神様の教えが詳しく書かれています。イスラエルの民にとって、モーセとヨシュアよりも優れた指導者などというものは、ほとんど想像することができませんでした。モーセは、イスラエルの子らを、エジプトからシナイ半島まで、約束の地カナンに入る手前ぎりぎりの所まで導きました。そして、ヨシュアは、今やイスラエルの指導者として、カナンの地に入り、そこを征服し定住しようとしていました。

ところが、このリーダーシップの移行には、モーセやヨシュアよりも偉大な‘第三者’がからんでいました。“律法の書”です。ヨシュアは、昼も夜もそれを口ずさみ、それを離れて右にも左にもそれではならないと告げられました。これこそヨシュアにとって（ひいてはイスラエルの民にとって）繁栄し栄える（8節）ための唯一の方法だったので。

ここで“律法の書”と訳されている“トーラー”という語は、実際には“指導”とか“指示”を意味します。神様のみことばは、法的文書ではなくて、私たちを地上から天国へと連れて行ってくれるロードマップです。神様のみことばは、良い人生を建設するための設計図セットです。モーセやヨシュアやイスラエルの民にとっては、その通りでした。今日、私たちが、神様のみおしえを体現されたお方、「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれもひとりの父のみもとに行くことはできません。」（ヨハネ14:6）と言われたイエス様に従おうとするなら、私たちにとても当てはまります。

讃美歌 501

祈り お父様、私たちを永遠へと導く、あなたのみおしえに従うことができますように。そして、私たちと同じように地上を歩んでくださって、今は私たちを励まし導いてくださる、御子イエス様をいつも見上げていられますように。イエスさまのお名前によって祈ります。アーメン。

ノース・カロライナ州 ダラム  
ポール L・ワトソン

9月16日(土)

## 小さな祈りが助けになります

聖書朗読 ヨシュア記 2:12~22

どうか、私があなたがたの真実を尽くしたように、あなたがたもまた私の父の家に真実を尽くすと、今、主にかけて私に誓ってください。そして、私に確かな証拠を下さい。私の父、母、兄弟、姉妹、また、すべて彼らに属する者を生かし、私たちのいのちを死から救い出してください。 ヨシュア記 2:12~13

遊女ラハブが危険をおかして、イスラエル人の二人のスパイをかくまった時、彼女はその機会を利用して、家族のいのちのために取引をしました。スパイのいのちを助けるかわりに、家族のいのちを助けてほしいと歎願しました。ラハブは家族を守りました。ラハブのような女の人が、外国のスパイと交渉するところを想像してみてください。ラハブには家族のために命乞いする勇気がありました。ラハブはスパイを恐れ、主の御力の偉大さを知っていました。スパイをかくまって取引をお願いするなんて主に対して恐れ多いとは知りつつも、家族を助けたい一心で、家族のためになりました。

私たちの大半は家族のために命乞いをしたことはありません。家族の身体的安全は心配ないかもしれませんが、霊的危険にいつもさらされていることを認識する必要があります。私たちのまわりには、神様に従うよりも、その影響を受けて、利己的になり、自分の欲望におぼれてしまうようなものがいっぱいです。私は日々の祈りで、神様に家族を守ってくださいとお願いしています。イエス様の祈りのように祈りたいと思います。この世の現実から家族を取り去ることではなく、悪い影響から守ってくださいることを、神様に祈ります。(ヨハネ17:15)

讃美歌 332

祈り 主よ、今日、あなたの愛の御手で家族を包んでください。彼らがあなたを見続けることができますように。あなたに背くように誘惑しようとする声からお守りください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック  
ベス・ロビンソン



9月17日(日)

## 絶え間ない変化

聖書朗読 ヨシュア記 4:1~10

イエス・キリストは、きのうもきょうも、同じです。

ヘブル 13:8

私たちの回りにはいつも変化があります。変化は事あるごとにいどんできます。家族や長年の友を離れて、新しい場所でやり直すのは何かぎくしゃくします。イスラエルの民はいつも変化していたようです。

でも、神様にはご計画がありました。神様は、ご自分の民を約束の地に導くのにヨシュアを立てられました。神様は、ヨルダン川の流れをせき止められ、彼らは乾いたところを歩いて、安全に渡り終えました。それから、神様は、そこで神様のみわざがなされたことの記念として、十二の石を据えるように告げられました。後になって、子どもたちが、なぜそこに石が建っているのかと尋ねたら、神様が大変な困難から私たちを救い出してくださったのだと思い起こさせなさいと言われました。神様は私たちと共におられました。神様のご計画は、私たちに希望と将来を与えるためのものであり、私たちを最後まで見届けるために、超自然現象をもって介入されたのです。

変化のせいで、私たちは神様に頼らざるを得なくなり、過去に神様がしてくださったことや、どのように私たちを守ってくださったかを考えることになります。神様はいつも一緒に、私たちのためにいてくださいます。それは変わることがありません。神様の変わらないみこころを信じましょう。

聖歌 604

祈り 主よ、あなたが以前して下さった素晴らしいみわざを覚えます。私たちへの変わらぬ愛と優しさゆえに、あなたをほめたたえます。私たちのあらゆる移り変わりの中で、あなたのめぐみに目を留められますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 マラブー  
ルーシー・ペラン